

研究課題

著作物を尊重する態度の育成を目指したビデオ教材パッケージの開発と活用（そのⅡ）

副題

～著作権者が出演し、思いを届ける力のある教材づくり
（ものづくりの現場から）～

学校名

津山ICT教育研究会

所在地

〒708-0004
岡山県津山市高野本郷1041

1. 研究の背景

近年、情報機器の進歩により、家庭でも簡単に絵や写真などの著作物を読み取って印刷したりWeb上からコピーしたりできるようになってきた。違法コピーや海賊版DVDも珍しいものではなくなっているなか、情報教育において著作権に対する感覚をより一層高めることが求められている。

私たちは、現在まで数種類の著作権指導用教材を作成してきた。主として、著作権者と使用者のどちらの立場にも焦点をあてたものであった。作成した教材は、岡山県総合教育センターで成果発表を行ったり、文化庁の著作権教育実践に応募し、最優秀賞や優秀賞を受賞し、Web 上でもダウンロードし活用できる形になっている。

今年度は、ものづくりの現場に実際にたっているパナソニック株式会社の4名の方に登場してもらい、違法コピーや海賊版DVDに対しての考え方やそれらの商品が自分たちの仕事や身近な家族のことに及ぼす影響について語ってもらう構成をとった。ネット社会において、著作権者の顔が見えないことが著作権の軽視に繋がっていると考えたからである。

2. 研究の目的

著作物の作成にかかわる方が登場し、違法コピーや海賊版について語ってもらうビデオ教材パッケージとして開発し活用していく。作成した教材は授業実践を通して、児童の感想、教師による評価から修正・改善を図っていく。

3. 研究の方法

前年度と同様に研究全体会を毎月開催し、研究の方法や進捗状況を確認しながら研究を進めていった。今年度も基礎作業として、現在までどのような著作権教育が行われているのかWebから実践を洗い出すことを行った。調査した範囲においては、昨年度自分たちが作成した以外に、実際に著作権者が児童に語りかけるタイプの教材を見つけることはできなかった。

まず、研究テーマの核をなす著作権にかかわるものづくりをされている方へ連絡をとり、趣旨を説明し協力をいただいた。著作権者への取材をもとに、研究グループで教材の構成を考え、指導用教材を作成していった。授業を何度かする中で、先生方の意見を取り入れたり、児童の反応を見ながら修正を図ってよりよい著作権指導用教材を作成していった。

4. 研究の内容・経過

開発した著作権指導用教材は、先生方が使いやすいように下記にあるような教材をパッケージにしている。

① 場面紹介資料

道徳の読み物教材にあたる。これを手に取り、読み進めながらデジタル教材を提示し授業を組み立てていく。デジタル教材が、次の場面に移るタイミングや補足的な説明などが書き込んである。

② デジタル教材

パワーポイントで作成してあり、場面の様子がよくわかるようにイラストや写真、動画が組み込まれていて、児童の視覚や聴覚に訴えることができる。また、今回の教材には、著作権にかかわるものづくりをされているパナソニック株式会社の方が登場して、児童に直接語りかける構成をとることで力のある教材に仕上がっている。

③ ワークシート

授業で使用するワークシートである。授業者の意図で自由に書き込めるように大まかな枠にしている。以下に中心となる場面紹介資料と、デジタル教材の一部を紹介する。

みなさんはDVDやCDを買った経験がありますか？

(直接お店で買ったのか、ネットで買ったのか尋ねてみる)

今日の登場人物は、花子さんとそのお母さんです。花さんは、映画館で見たアニメ「わん太の大冒険」が気に入ってお母さんにDVDを買ってもらうことをお願いします。その時のお話です。

(クリック)

お母さんが「わん太の大冒険」のDVDをネットで買おうとしています。でも、お母さんや花子さんの表情がさえません。



お母さんはどんなことを考えていると思いますか？

6000円しますね。少し高いなあと考えているのかもしれませんが。(クリック)

他のところを見つけたようです。さっきとはお母さんの表情が違いますね。

お母さんはどんなことを考えていると思いますか？

300円です。これはさっきと違って安いなあと思ったのかもしれませんが。(クリック)

どうしてこんなに値段が違うのでしょうか？

正規版DVDと海賊版DVDの違いを押さえる(海賊版の意味についてはここでは触れない。質問が出たら後でわかることを伝える)

皆さんならどちらのDVDを買いますか？

①正規版DVD

②海賊版DVD

どちらかを選ばせて挙手をさせる。理由も尋ねる。どちらを選んでも認め、理由が発表できた児童を褒める。(クリック)

お母さんと花子さんが買ったのは海賊版DVDの方でした。(クリック)

お母さんと花子さんが購入したDVDを見ている様子を説明する。

いよいよ始まった「わん太の大冒険」です。楽しみですね。(クリック)

わん太が宝物を探すために地図を広げています。さて、どんな宝物が見つかるのでしょうか？(クリック)

お母さんと花子さんが驚いていますね。何が起こったのでしょうか？

(スライドを提示して児童に考えさせる：人の頭が映っている・画面が斜め)

なぜか、人の頭のようなものが映っています。それによく見ると、画面も斜めになっています。(クリック)



どうして人の頭が映っているのでしょうか？

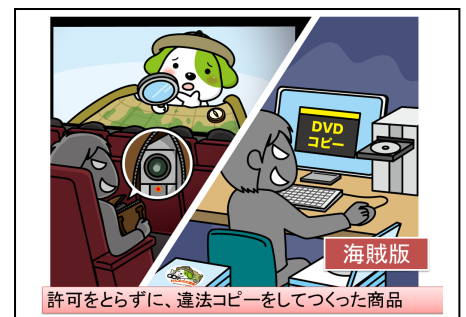
(理由を考えさせ発表させる。個人やグループで) 発表が終わったら (クリック)

このDVDがどうやって作られたか説明できますか？

(教師が説明せずに、児童に画面を見て考えさせる。1、2名の児童に画面を説明させるとよい。映画館で無断で撮影して、許可をとらずにコピーして販売したもの)

児童の説明が終わったら (クリック)

このDVDは許可をとらずに、違法コピーをしてつくった商品です。これを海賊版と言います。(クリック)



お母さんや花子さんが海賊版DVDを買ったことは法律に違反するのでしょうか？

- ①法律に違反する
- ②法律に違反しない

挙手をさせる。理由を聞いても良い。

現在(平成27年3月時点)では、海賊版DVDを購入することについては法律には違反しません。(ただし、それを人に見せたり、販売してはだめ)(クリック)

購入しても法律には違反しないと言いましたが、海賊版DVDを購入することは良いことでしょうか？

- ①良いこと
- ②良くないこと

挙手をさせる。多くの児童が②の良くないことに手を挙げる (クリック)

海賊版DVDを購入することは、どのような問題があるでしょうか？

個人やグループで考えさせる。スライドのイラストがヒントになる。発表させたら次のスライドに進む(クリック)

映画のDVDを作成している会社に行って、実際に働いている人に海賊版DVDのことを尋ねてきました。(パナソニック株式会社 津山工場：映画のコンテンツを作成している)

5. 研究の成果

授業の前後で、著作権に関わっての簡単なアンケートをとった。(5年生) 授業前と授業後の変化を示す。

○ 海賊版DVDや海賊版CDを知っていますか

	よく知っている	少し知っている	あまり知らない	全く知らない
授業前	1	2	4	19
授業後	11	9	3	2

○ 海賊版DVDを購入することは良いことですか

	良い	少し良い	悪い	わからない
授業前	0	1	3	22
授業後	0	1	21	3

○ 授業の感想

- ・ 海賊版という言葉を知った。お母さんとか、よくパソコンで多肉植物とか花の種とか服とか買うので、もしCDとか買うと言ったらだまされないよう、正しい方を買う。
- ・ 違法をしている人がいると正規版をつくらしている人が困っているので海賊版をつくるのをやめてほしいです。
- ・ 安いからといって海賊版の方を買うのではなくて、正規版の方がいいんだなと思いました。
- ・ 海賊版はいけない。犯罪をしている人の映像だから正規版の方がいいと思いました。勉強になっておもしろかったです。
- ・ 海賊版というのが何かわからなかったのも、もし、私がネットで買ってしまっているかもしれなかったのも、勉強をして海賊版がどれだけ恐いのかよくわかりました。だから気をつけるようにします。
- ・ 海賊版は人が許可をとらずコピーしたことのいけないものなので買わないようにする。
- ・ 授業をうけて「本当にこんなことをする大人がいるんだな」と思った。ネットでDVD・CDを買うときはこの勉強を生かしてお家の人と買い物をしたかった。
- ・ 海賊版があることを知らなくて、違反や違反じゃないことなどがわかりました。この授業はとても楽しかったです。
- ・ 海賊版でというのは、人が違反でコピーしたものだとなりました。だから、正規版を買う方がいいとわかった。
- ・ 海賊版を初めて知りました。この話をきいて、すごく楽しかったです。ぼくも大人になってこんなことはしないようにします。

児童の感想からも、海賊版DVDを購入することは良くないことであり、著作物を尊重しようとする気持ちを読み取ることができる。著作権指導のためのビデオ教材パッケージとして、十分に活用できるものに仕上がったと考えている。

6. 今後の課題・展望

映像コンテンツDVDを作成しているパナソニックの中村氏や山口氏を初め4名のかたにメッセージを頂き、児童の心に響く教材に仕上がった。今後の課題としては、昨年と同様にさらに多くの種類の著作権指導用教材の開発が必要と考えている。デジタル機器が発達し、コピーペーストが簡単にできるようになったからこそ、著作権教育は重要な役割を果たすと考えている。

7. おわりに

今回、教材を作成するにあたってパナソニックの中村氏、山口氏をはじめ4名の方々は、忙しい業務の中、時間をとって丁寧に対応してくださった。お陰様で、著作物の作成にかかわっている方々が子供たちに語りかける力のある教材に仕上がった。本当にありがとうございました。

< 参考文献 >

・デジタル教材の中の人物イラスト

：出典：IPA「教育用画像素材集サイト」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>